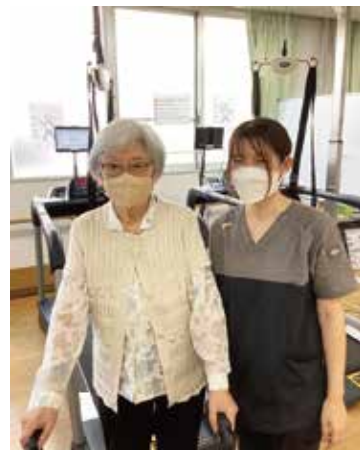


新しい目標に向かって

Y様は2025年3月に入院されていた病院から自宅へ退院されましたが、退院直後は自宅内をピックアップで移動、屋外歩行は困難で車椅子を使用されている状態であり、「しっかり歩けるようになりたい」という目標のもと4月から通所リハビリのご利用を開始されました。短期集中リハビリでのトレーニングとパワーリハビリ、P-walkを週3回取り組まれ歩行は徐々に改善、現在は自宅内を伝い歩きで移動可能となりました。屋外も押し車の使用を開始され、

「家族様と押し車で外出する」という新しい目標に向かって現在もパワーリハビリやP-walkに取り組まれています。Y様の目標が達成できるよう、スタッフ一同、引き続きサポートして参ります。



Y様（パワーリハ歴 6ヶ月）

体力測定	2025年4月	2025年10月
ファンクショナルリーチテスト	15.5cm	19.5cm
座位体前屈	14.0cm	23.0cm
TUG	73.6秒	22.3秒

医療法人アエバ会 老人保健施設
すこやか生野

入所・短期入所
06-6717-8002 (代表)

通所リハビリテーション
06-6717-8003 (直通)

居宅介護支援事業所
06-6717-8033 (直通)



<https://www.aeba.or.jp>

すこやか生野

検索

無料見学体験会随時実施中！

お気軽にお問い合わせください。



すこやか生野 入所介護の取り組み

水分のお話

体内の総水分量は、高齢者では体重の50%と言われています。そのなかで、尿や便、不感蒸泄（発汗など目に見える汗以外の、皮膚や呼吸によって無意識のうちに失われる水分）となって水分が体外に出ていきます。そのため1日1500ml以上の水分摂取が必要となります。

水分不足になると、体のだるさや立ちくらみ、皮膚の乾燥、覚醒状態の低下などの脱水症状以外に便秘や認知症状の悪化にもつながります。

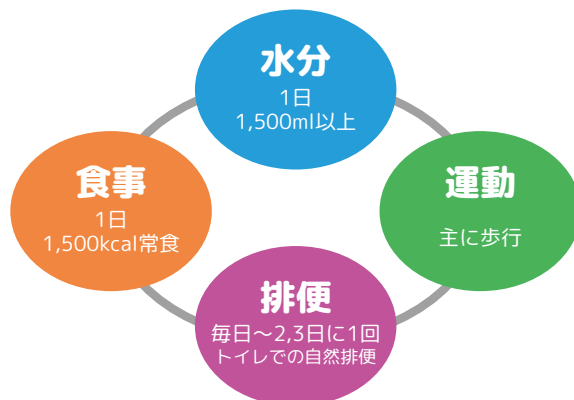
しかし高齢になると、一度に摂取できる水分が少ない利用者様もいらっしゃいます。すこやか生野では、水分摂取が進みにくい利用者様には、何故進まないのかの原因を探り、必要に応じて、一回の水分提供量や飲んでいただく時間帯を調整したり、本人様が好きな飲み物を家族様に持参していただいたりして少しでも摂取していただけるよう、日々工夫しています。

自立支援介護 ～自立支援に向けたケアの提供～

すこやか生野では食事（栄養）：1,500Kcal/日、水分：1,500ml/日、自然排便、運動（リハビリ）の4つのケアを基本とする自立支援介護を実践しています。

☎ **06-6717-8002** (代表)
担当：高砂 (介護福祉士)

自立支援介護 4つの基本ケア



すこやかKITCHEN note

～すこやか生野のキッチンで調理している食事レポートです！～

10月6日は十五夜（中秋の名月）でした。

- ・栗ご飯 ・ 鰯の塩焼き（大根おろし）
- ・南瓜饅頭 ・ さつま汁

十五夜にちなんだ行事食。秋の訪れを感じていただける献立です。ほっくり甘い栗ご飯はエネルギーと食物繊維が豊富、香ばしい鰯の塩焼きは良質なたんぱく質とカルシウムが摂れます。彩り豊かな南瓜饅頭や野菜たっぷりのさつま汁とあわせて、栄養バランスも整った秋の献立です。

担当者：管理栄養士 数内 彩

